

外部用

令和5年11月
鳥栖市教育委員会
定例会議事録

鳥栖市教育委員会

鳥栖市教育委員会 議事要旨

1 会 議 名

教育委員会 11 月定例会

2 開 催 日 時

令和 5 年 11 月 8 日（水）9 時 00 分開会 9 時 55 分閉会

3 開 催 場 所

鳥栖市役所 3 階第 3 委員会室

4 会 議 の 公 開

公開

5 出 席 委 員

佐々木教育長、古澤教育長職務代理者(委員)、戸田委員、森田委員、大石委員

6 出席事務局職員

姉川教育部長、牛嶋教育次長兼生涯学習課長、佐藤教育総務課長、古賀学校教育課長、立石学校給食課長兼学校給食センター所長、久家生涯学習課参事、久山生涯学習課長補佐兼生涯学習推進係長、城島教育総務課総務係長、守田学校教育課教育指導係長兼指導主事、島生涯学習課文化財係長、中溝生涯学習課図書係長

7 傍 聴

1 人

8 経 過 報 告

10 月定例会以降の経過報告

9 議 事 録 承 認

10 月定例会の議事録承認

【承認】

10 議案

議案第 20 号 議会の議決を経るべき議案の原案について
(令和 5 年度鳥栖市一般会計 教育委員会所管補正予算)

11 協議報告事項

コミュニティー・スクールに係る意識調査結果について

12 今後の予定等

教育委員会関連の主な行事について報告

13 次回会議予定

教育委員会 12 月定例会 令和 5 年 12 月 13 日（水）8 時 30 分から

○佐々木教育長

ただいまから、教育委員会11月定例会を始めたいと思います。

議事に入ります前に委員の皆様にお諮りいたします。議案第20号 議会の議決を経るべき議案の原案について（令和5年度鳥栖市一般会計 教育委員会所管補正予算）につきましては、鳥栖市教育委員会会議規則第11条第1項第3号に該当するため非公開により、審議を行うことにご異議ございませんでしょうか。

○各委員

異議なし。

○佐々木教育長

ご異議なしとして、議案第20号につきましては、非公開により審議することに決しました。それでは、経過報告について事務局より説明をお願いいたします。

○佐藤教育総務課長

（資料に基づき説明）

○佐々木教育長

経過報告について何かご質問等ありましたらお願いします。

○大石委員

11月7日の田代中学校入学説明会の開催場所は田代中学校で間違いありませんでしょうか。

○佐藤教育総務課長

弥生が丘小学校になります。

○佐々木教育長

他にご質問等ないでしょうか。それでは私のほうから報告させていただきます。教育委員会の行事ではありませんが、10月14日に中学校スピーチまちづくりワークショップというイベントを実施しまして、中学生によるスピーチを実施するという内容です。市長と副市長も参加いただいて、市議会議員の皆さんの前で子どもたちが基里中学校生徒の被災地の体験や、都市計画の面で交通量が多いので、自転車通学が大変危険であるため、教育委員会に対して、自転車置場の整備や、図書館の充実をもっと図ってほしい、タブレット活用を自由に実施したいなどの主張がありました。市議会議員の皆さんも真剣に聞いていただいて、とても良かったと思っております。最後に印象的に残ったのは、田代中学校の生徒のスピーチで、メッセージの最後に「主張している私たち自身が、皆さんの期待に応えてみせます。」と力強いメッセージを述べられていました。政治の場などで、子どもたちが主張していくというのはすごく大事なことだと思いますし、そういう機会を、大人たちが積極的に作ってあげなければいけないと思ったところです。

議事録承認についてですが、10月の定例会の議事録を別冊でまとめていただいておりますので、何かありましたら事務局の方にお問い合わせしたいと思います。それでは、議案のほうに入ります。議案第20号 議会の議決を経るべき議案の原案についてを議題といたします。冒頭、非公開により行うことを決定しておりますので、傍聴の方については、ご退出をお願いいたします。

[非公開]

議案第20号 議会の議決を経るべき議案の原案について（令和5年度鳥栖市一般会計 教育委員会所管補正予算）

（非公開で審議後、第20号議案は原案のとおり承認された。）

○佐々木教育長

コミュニティー・スクールに係る意識調査結果について事務局からの説明をお願いします。

○守田学校教育課教育指導係長兼指導主事

（資料に基づき説明）

○佐々木教育長

説明が終わりましたが、ご質問等ないでしょうか。

○大石委員

ご説明ありがとうございました。コミュニティー・スクールも長く続いてきた感じがするのですが、保護者側の認識について、少しずつ理解を得られてきていると思いつつ聞かせていただきました。私自身、学校運営協議会に関わらせていただいて、感じたことは、地域からでなく学校側のほうから発信していかないと、基本的に続かないと感じているところです。学校側は、校長先生とコーディネーターが主となって動いてもらう必要があると思います。ここから先は、個人的な意見ですが、コミュニティー・スクールに対する手段と目的が入れ替わってきているような感じがして、コミュニティー・スクールとは、あくまで手段にしか過ぎないので、何のために取り組んでいるのかを、再度しっかりと考えたほうが良いのではと考えています。教職員を対象としたアンケート結果の中で、「コミュニティー・スクールに期待することは？」という設問で、子どもにとってのメリットと回答される方が多数を占めていたのですが、私としては教職員の皆さんにメリットを感じてほしいと思っています。私は学校と地域が共に理解が深まることで、家庭教育との相乗効果が生まれるものだと思っていますので、子どもにとってメリットは勿論ですが、教職員の方々へのメリットも感じてほしいところです。学校の課題や現状について理解してもらったり、学校運営に対してより良い案などを一緒に考えたり、人脈が増えることで学校支援ボランティア活動の活性化や、地域社会を見据えた学校運営と子どもたちの社会的な成長を促すことが学校運営協議会の役割だと思います。たくさん喋ってしまいましたが、何よりも先生方にメリットをもたらすことを中心に据えて、今後も推進していただければと思いました。

○守田学校教育課教育指導係長兼指導主事

職員への聞き取りの中で、職業に関する講話準備を行う際、職員が企業に電話するなどして、講師の先生方を探すのはとても大変だったのですが、地域の方々の人脈を活用して探していただいて、すごく助かっているという意見をいただいております。それから、部活動地域移行への協力や学校では見えにくい家庭問題を抱えている生徒への支援などの意見もいただいております。

○古賀学校教育課長

今回の調査結果を見たときに、例えば「保護者から学校に対して、よく支援してもらっていると思いますか？」という質問は、非常に高い数値を示しているのに対して、「コミュニティー・スクールの取組は、先生の仕事の負担軽減につながっていると思いますか？」という問いでは、数値が低くなっています。その要因を考え

たときに、「学校運営協議会で熟議されたの内容は知っていますか？」という質問に対して、「知らない」の割合が非常に多いので、もしかしたら、先ほどお示しました取組事例について、多くの先生方はコミュニティー・スクールとして取り組んでいることを知らないかもしれないという課題があるかもしれません。今後、そういった課題の改善を図っていくためにも、やはり熟議の内容について、職員へ周知していただくよう、管理職研修会等でお願いをしていきたいと思っております。

○大石委員

先ほど、古賀課長が説明していただいた内容のとおりだと思いますが、学校に任せてばかりでは良くないと考えているところです。以前この場でお話ししたかもしれませんが、数年間続けてきましたので、コーディネーターの方達だけで集まる場を設け、他校区の取り組み内容について情報を共有してもらい、良いところほどどんどん取り込んでいき、新しい取組などを考えてみて良いタイミングなのではないかと思っておりますので、その辺も併せて検討していただければと思います。

○佐々木教育長

「あなたは、学校が行っている行事などに参加していると思いますか？」という質問を保護者に対してアンケートを取らせていただきましたが、学校が行っている行事について授業参観だけでなく、様々な学校行事がありますので、保護者がどのようにイメージしながら回答していただいたのが気になるところです。それから、コミュニティー・スクールとして行う活動についても、ちゃんとイメージされていたのが気になるところです。今回のようなアンケートを保護者向けに取る際、活動内容について具体的にイメージしていただけるかが、課題としてあると思います。田代中学校では、中学生が積極的に地域のほうへ出向いて清掃活動に取り組んでいると聞いておりますので、子どもたちによる地域貢献活動を積極的に取り組んでいるところでした。それから、先ほども話題になりました、先生方の負担軽減につながっているのかについて、小学校の場合は畑・野菜づくりのお手伝いなど、地域から積極的に入っている部分があるのですが、中学校では、なかなかそういう機会がないので、負担軽減にうまく繋がっていないと私は見ていました。ただ、先ほど大石委員も言われましたが、表面的な負担軽減ということではなく、コミュニティー・スクールという場を通じて地域の皆様と一緒に学校を盛り上げていきたいと思いますという考え方なので、先生方が日頃から取り組んでいることについて、地域も一緒に支えていただいだけでも、負担軽減されるのではと思います。保護者と先生との間で信頼関係を築き、同じ目標に向かって進むことができれば、先生方の負担軽減につながると、私は思います。私が教育委員として就任していた時、同じアンケートで指摘したことがあるのですが、教職員が学校運営協議会を知らない又はコミュニティー・スクール自体を知らないというのは、ありえないと思いますので、各学区でもう一度徹底してほしいと思っております。それでは、コミュニティースクールに関する意識調査の結果について報告のとおり、了承をお願いします。続きまして、今後の予定について、事務局の説明をお願いします。

○佐藤教育総務課長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

事務局からの説明が終わりましたが、ご質問等ありますでしょうか。無いようで

したら、本日の議題につきましては、全て終了いたしました。これをもちまして鳥
栖市教育委員会11月定例会を終了いたします。お疲れさまでした。ありがとうござ
いました